

## 東京・横浜でシブウォッチング+シージャパン見学

2024-4-13 事務局長 池田良穂

マイアミから帰国して、その翌週から造船関係の新人社員教育の講師を務めるために上京して、その仕事の合間に、東京港や横浜港でのシブウォッチングを楽しむことができたのでご紹介します。また、東京ビッグサイトで開催の造船業界向けの国際展示会シージャパン2024も覗いてみました。



夕刻、大阪から羽田空港に到着して、横浜に移動するバスの中からピースボートの「パシフィック・ワールド」の姿が見えました。仕事は東京だったので東京のホテルを探しましたが、リーズナブルな価格のビジネスホテルは満杯でとれず、横浜のホテルを予約しました。



宿泊したアパホテル&リゾート横浜ベイタワーの部屋の窓からは、ベイブリッジがよく見えました。運よく港の入口が見える方角の部屋になりました。



連日、横浜から東京・新橋まで電車で通い、講義が終わると、新橋から「ゆりかもめ」に乗って、青海の RORO 船・フェリー埠頭まで往復しました。この日は、ゆりかもめの車内から、停泊する栗林商船の 2 隻の RORO 貨物と、遠くの東京国際クルーズターミナルには「ノルウェー جان・ジュエル」の姿が見えました。



ゆりかもめのクルーズターミナル駅付近から見た「ノルウェー ジュエル」の姿です。



クルーズターミナル駅からの写真は逆光気味だったので、日の出岸壁まで戻って、15 時発のシンフォニークルーズに乗船して、「ノルウェー ジュエル」の姿を撮影しました。50 分のクルーズなので、側面が撮影できる前に U ターンしてしまいましたが、斜め前からの姿を撮影することができました。





乗船したのはレストラン船「シンフォニー・タベルナ」でした。ランチクルーズは2隻体制での運航で、15時発の50分間のクルーズにも100名近くの乗客がありました。



4日目の朝に、横浜の大棧橋に「パシフィック・ワールド」がシフトしてきて着岸しました。



横浜の保存船「日本丸」の夜景です。

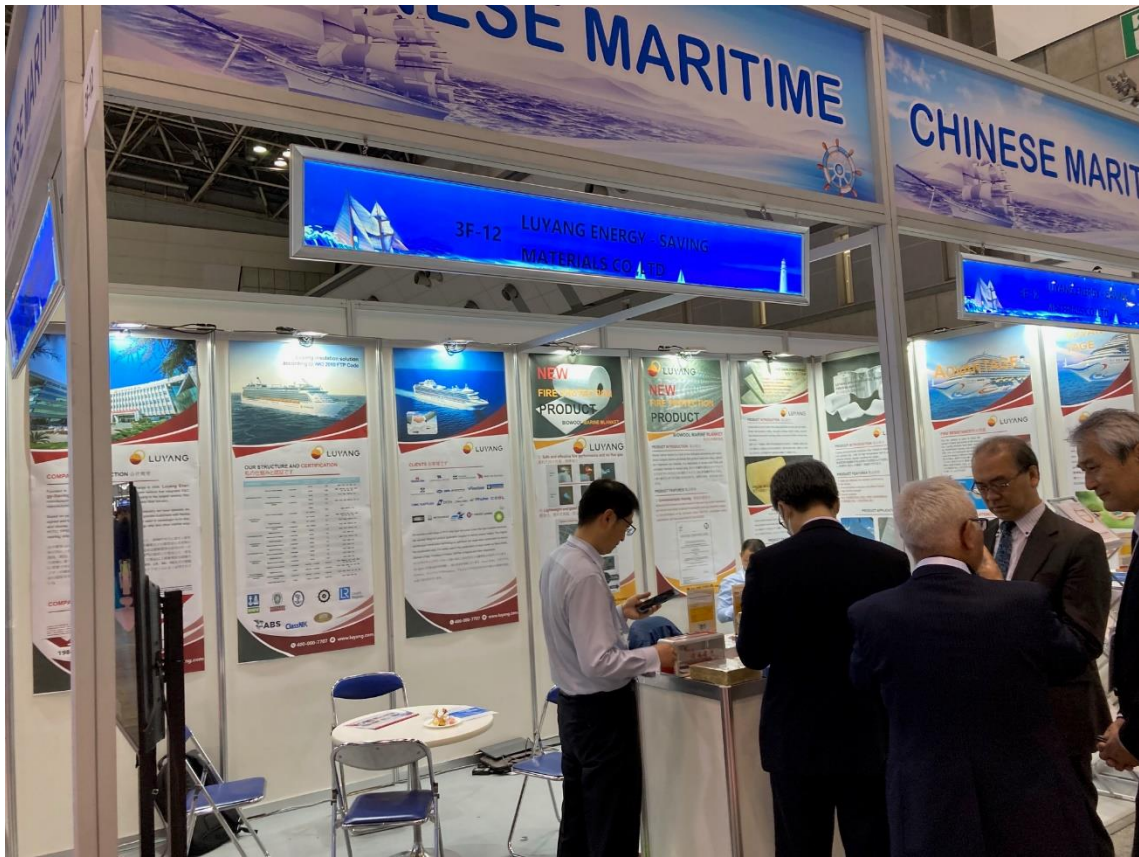


滞在最終日には、東京国際クルーズターミナルには「セブンシーズ・エクスプローラー」が入港していましたが、雨になり、あまりよい写真は撮影できませんでした。ゆりかもめの車上からの撮影でブレた画面になってしまいました。

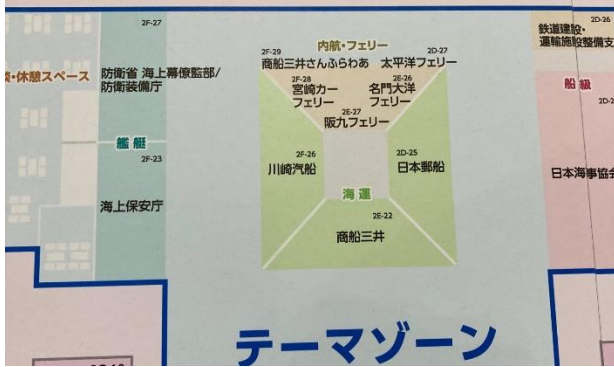


東京ビッグサイトで開催されていた造船の展示会シーージャパンには、620社・団体がブースをだしており、船の建造に必要な製品・部品がこんなにもあるのかと驚かされました。展示の中に客船がどれだけあるかに注目してみましたが、日本郵船のブースに「飛鳥Ⅲ」のパネルが飾られていました。





中国造船のブースに、クルーズ客船のパネルが2枚飾られていました。



日本海運のブースに、商船三井さんふらわあ、太平洋フェリー、名門大洋フェリー、阪九フェリー、宮崎カーフェリーの写真パネル・模型船の展示がありました。